

国語

第1問

次の文章を読んで、後の問い（問1～問8）に答えよ。

（山折哲雄『につぼん巡礼』による。）

問 1 傍線部ア、オの漢字はひらがなに、カタカナは漢字に書き改めよ。

問 2 傍線部 A・B の四字熟語の読みをそれぞれ答えよ。

問 3 空欄 I に入る最も適当なものを、次のア～オの中から一つ選び、記号で答えよ。

ア 天然 イ 伝統 ウ 洗練 エ 無常 オ 石庭

問 4 傍線部 1 「水と の関係」は「全く交じり合わず、何かにつけて反発し合う関係」という意味を表す。 に入る語を漢字一字で答えよ。

問 5 傍線部 2 「枯山水という名の庭の暗喩である。」とあるが、それはどういうことか、説明せよ。

問 6 傍線部 3 「白砂青松の風景が大きな刺激もしくはヒントになっていたのではないだろうか。」とあるが、筆者はなぜそのような考えたのか、説明せよ。

問 7 傍線部 4 「それまでの作庭術の伝統にたいする反逆の試み」とあるが、それはどのような試みか、説明せよ。

問 8 二重傍線部「そのことで浮かび上がらせようとしている究極のもの」とあるが、それは何か。文中から四十字以内で抜き出して答えよ。(ただし、句読点も一字とする。)

第2問

次の文章を読んで、後の問い（問1～問8）に答えよ。

（ウスビ・サコ「ニッポンの空気と空間利用」『がくとう學鐙』による。ただし、一部改変してある。）

問1 傍線部アの漢字はひらがなに、カタカナは漢字に書き改めよ。

問2 二重傍線部「口」にします（「口にする」）は、「声に出して言う」という意味の「口」を用いた慣用句である。このような「口」を用いた慣用句を一つ、その意味も合わせて答えよ。（ただし、「口にする」は除く。）

問3 空欄 A に入る最も適当なものを、次のア～オの中から一つ選び、記号で答えよ。

ア しかし イ 例えば ウ すると エ または オ つまり

問4 空欄 B ・ C には、それぞれ異なる漢字三字の語が入る。本文中から抜き出して答えよ。

問5 傍線部1「『空気を読む』こと」とあるが、それを日本ではどういうことだと筆者は感じているのか、本文から四十字以上五十字以内で二か所抜き出し、それぞれそのはじめと終わりの五字で答えよ。（ただし、句読点も一字とする。）

問6 傍線部2「言葉では理解できない日本」とあるが、それはなぜか、説明せよ。

問7 傍線部3「日本では協調性と考えられている行動様式には、今でもときどき疑問を覚えてしまいます。」とあるが、筆者はなぜそのように感じているのか、説明せよ。

問8 傍線部4「これだけ多くの人が行き交っているのに、だれ一人として和を乱す者はいない。」とあるが、筆者はその理由をどのように考えているのか、説明せよ。